

平成29年度 生活・自立支援キャンプ事業 子ども生き生き体験学習③

- 1 趣 旨 児童養護施設との連携を深め、様々な体験活動をとおして、子供たちの豊かな情操を養い、自立を支援する。
- 2 期 日 平成29年8月23日（水）～25日（金） 2泊3日
- 3 対象者 児童養護施設「若葉学園」に入所している子供
- 4 募集定員 無し
- 5 参加者 13人（小学生10人 若葉学園指導者3人）
- 6 指導者 垂水市漁業協同組合職員
国立大隅青少年自然の家職員



7 日程と主な活動

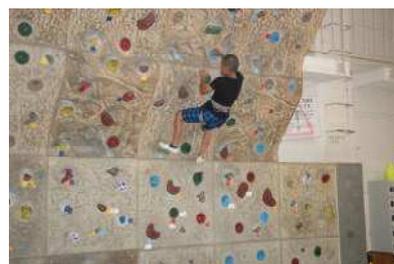
《1日目》 8月23日 (水)	9:30	11:20	12:00	13:00	16:00	20:00	21:00
	若葉学園から移動	入所 出会いのつどい オリエンテーション	昼食 (レストラン)	《体験》 スポーツ クライミング ベタンク	《生活》 夕食作り 夕食 後片付け シャワー	《体験》 星空観察 自主学习	まとめ 就寝

《2日目》 8月24日 (木)	6:20	7:00	8:40	12:00	13:30	16:30	20:00	21:00
	起床	《生活》 つどい 朝食 (レストラン) 準備	《体験》 錦江湾眺望コース ハイキング	昼食 (弁当) 休憩	《体験》 マウンテンバイク	《生活》 夕食作り 夕食 後片付け シャワー	《体験》 夜の散歩 自主学习	まとめ 就寝

《3日目》 8月25日 (金)	6:20	7:00	9:00	9:40	12:00	12:40	13:20
	起床	《生活》 つどい 朝食 (レストラン)	垂水市漁協 へ移動	《体験》 垂水市漁協 カンパチ養殖場 漁船乗船体験 えさやり体験	昼食 (漁協食堂)	アンケート ふりかえり 別れのつどい	垂水市漁協から 若葉学園へ移動

8 事業運営上の配慮

- (1) 始良市の児童施設「若葉学園」と連携して、施設で生活する子供を対象に体験活動を行う中で、子供たちのあいさつや返事などの基本的な生活習慣の確立や自立心の育成に貢献できるよう心がけた。
- (2) 垂水市漁業協同組合の協力の下、漁船乗船体験や養殖カンパチへのえさやり体験などを行い、関係者の工夫や努力を感じ取ることを通して、キャリア教育の一端となるよう工夫した。



9 参加者の感想

- マウンテンバイクが、とても楽しかったです。一匹のカンパチが、4kgもあるのがすごかった。(小学生)
- 子供たちが、あまり経験のない内容が多く組み込まれており、とても良い機会になったと思います。また、宿泊を通し、園外において子供たちがどのくらい適応能力があるのかを知れる良い機会となりました。(若葉学園指導者)
- 普段、体験ができない山登りや船での活動、あいさつや礼儀など、社会に出て必要なものが多くあり、子供たちにとって、とても良い経験になったと思いました。(若葉学園指導者)

10 成 果

- 児童養護施設の職員との事前打合せ等の中で、本事業の目的と内容について共通理解を図ったことから、子供たちや保護者の実態を考慮した活動を実施することができた。すべての活動が初めての経験で、子供たちは意欲的に活動していた。
- 今回参加された施設を含め他施設に対し、子供たちの基本的生活習慣の確立や自立心の育成のために体験活動の必要性を引き続き呼びかけていく。

